

日立ガステーブル保証書

出張修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼のうえ本書をご提示ください。

形名	GHS-28W		*お買い上げ日	保証期間
			昭和 年 月 日	本体：1年
*お客様	ご住所 ご芳名	〒 様		
*販売店	住 所 店 名	電話 ()		

*印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常ガス圧、指定外ガスでの使用による故障または損傷。
 - (ニ) 本書のご提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ヘ) ご転居等による熱量変更に伴う改造や調整。
2. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には別紙の「日立家電品ご相談窓口一覧表」をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙の「日立家電品ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについて詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

●修理メモ

日立家電販賣株式會社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12 TEL(03)502-2111

取扱説明書

[保証書付
裏表紙が保証書になっています]



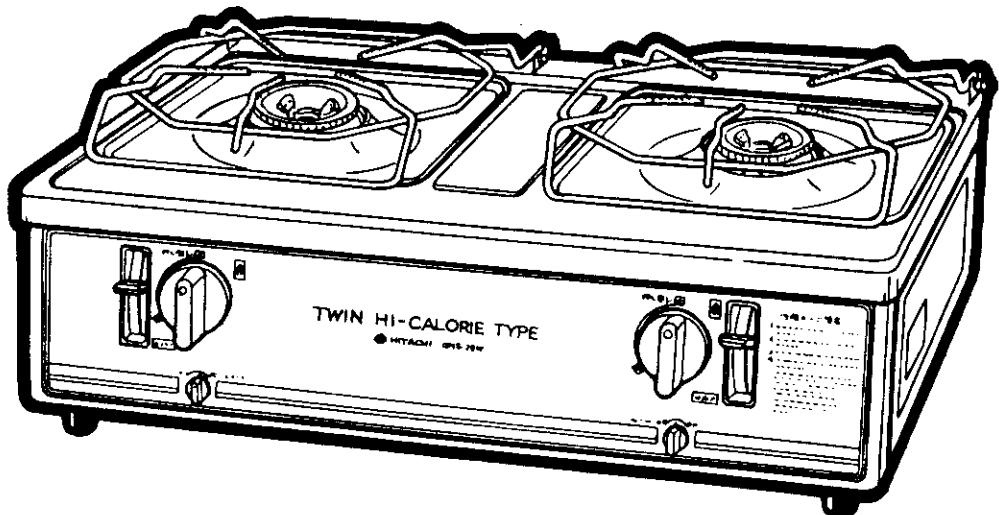
正しく使って上手に節約

日立ガステーブル

〈ガス二口こんろ〉

GHS-28W

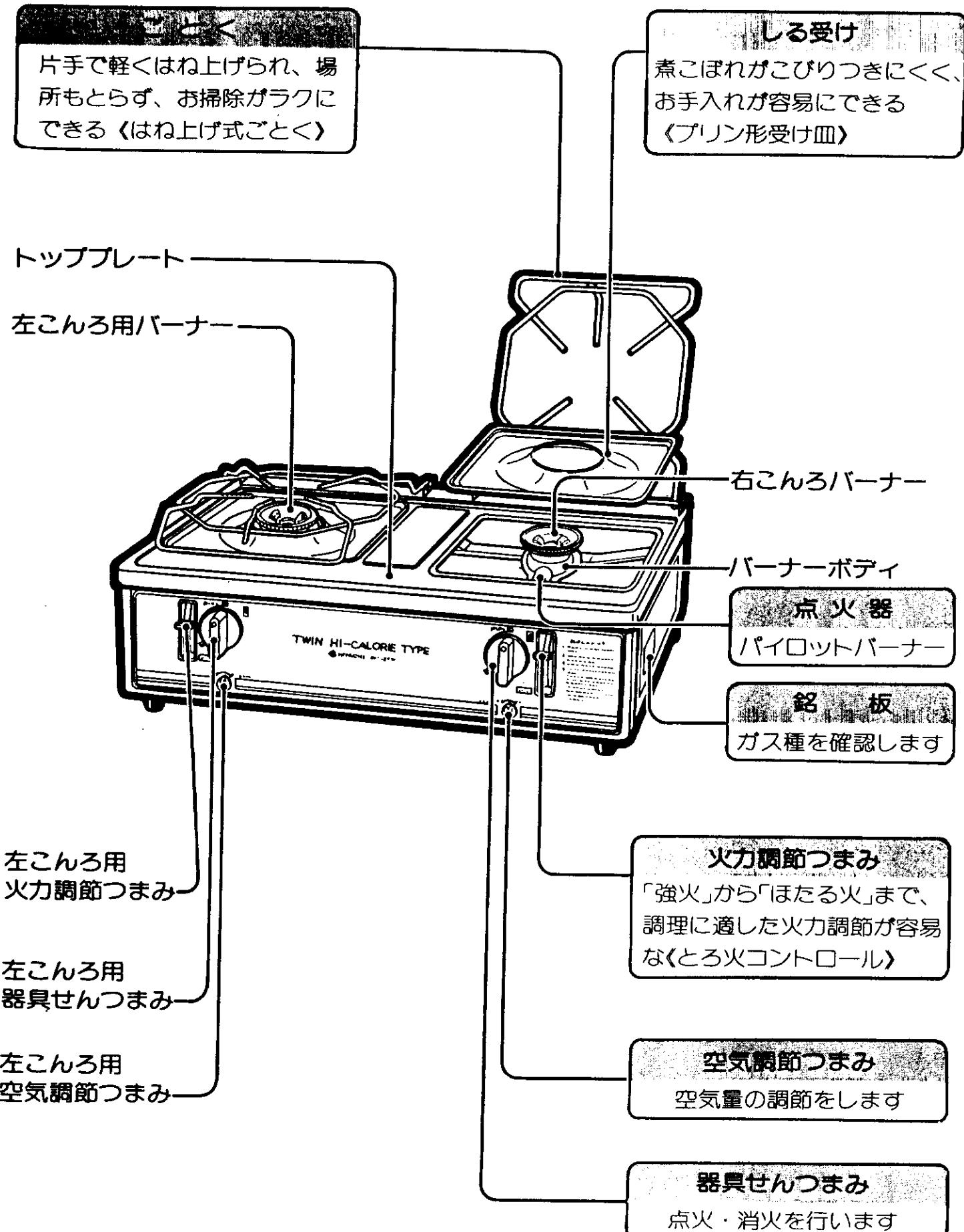
このたびは、日立ガステーブルをお求めいただき、
まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、「ご相談窓口一覧表」とともに
大切に保存してください。



目 次

	ページ		ページ
■各部の名称	1	■故障・異常の見分け方と	
■特に注意していただきたいこと	2~4	処置方法	11
■器具の設置	5~6	■長期間使用しない場合	12
■使用方法	7~8	■仕様	12
■器具の上手な使い方	8	■アフターサービス	13
■日常の点検・手入れ	9~10		

各部の名称(名称と特長)



特に注意していただきたいこと

使用ガスについて

器体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。
(銘板は器具の右側面に貼ってあります)

- 都市ガスには14種類あります。(12ページ参照)

(銘板の例)

GHS-28W
LPガス用
0.502kg/h
日立器具株式会社

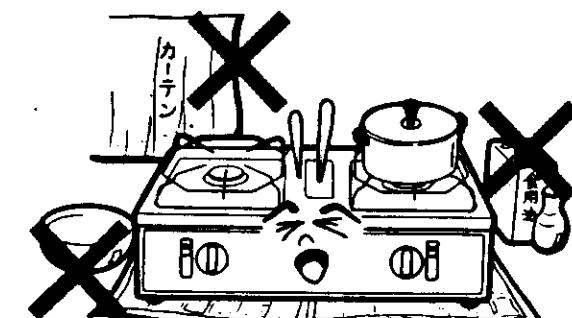
GHS-28W
都市ガス用
7C 5,670kcal/h
6B 5,500kcal/h
日立器具株式会社

LPガス用

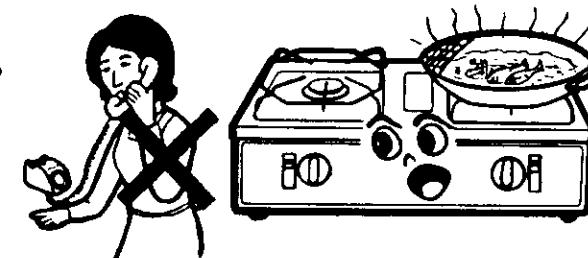
都市ガス用(7C-6B)

火災予防

- ①器具の上や周囲には、燃えやすいもの置かないでください。



- ②火をつけたまま、お出かけ、おやすみは、絶対にしないでください。

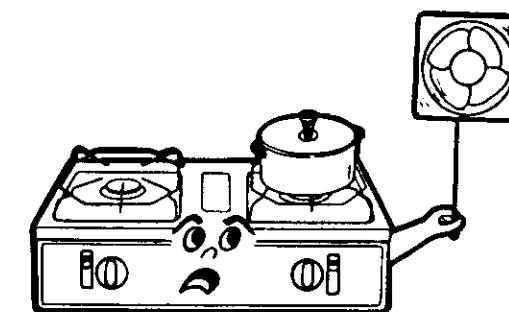


- ③火をつけたまま器具の使用場所をはなれないでください。
特に天ぷら揚げをしているときは危険です。

換気のご注意

ご使用と同時に換気扇を回すなど、換気には十分注意してください。

閉め切った部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼により一酸化炭素中毒の危険があります。

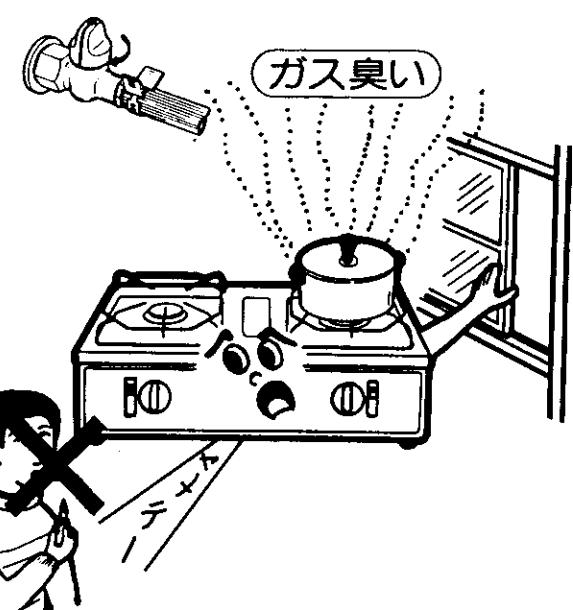
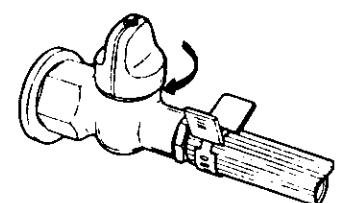
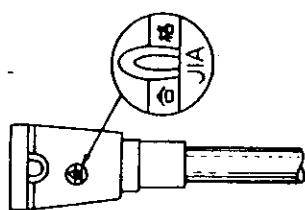
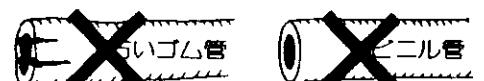
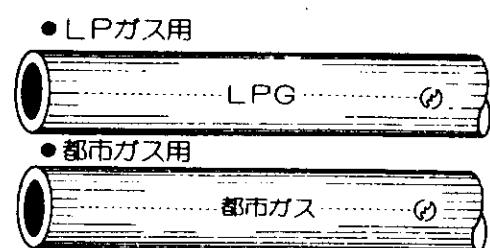


- 石油ストーブ等、他の燃焼器具を同時に使用しますと、特に酸素不足になりやすく炎がふらつくなどしますので、必ず換気してください。

…特に注意していただきたいこと

ガス事故防止

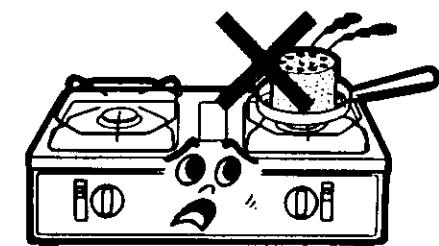
- ゴム管は、新しいガス用ゴム管を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。
ビニル管は熱に弱く、弾力性もありません。
- ガス用ゴム管には、LPGガス用と都市ガス用がありますので、使用ガスに合ったものをお使いください。
- 古いゴム管は、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんだりしやすく、ガス漏れするおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ゴム管は、少なくとも1ヶ月に1回は点検し、ひび割れしたり、弾力がなくなつたりしている場合は、新しいものと交換してください。
- 迅速継手を用いて接続する場合は、検査合格マークの入っているものを使用してください。
- 使用時の点火・消火のほか、使用中にもときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- 使用後は、必ず消火したことをお確かめください。
また、お出かけや、おやすみの際には、必ずガス元せんも閉じてください。
- ガス漏れに気付いたときは、すぐに使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけてガスを外へ出してから、漏れの原因を調べてください。
おわかりにならないときは、お買い求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。
- 万が一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具のスイッチの入・切はしないでください。火や火花でガスに引火し、爆発事故を起こすことがあります。



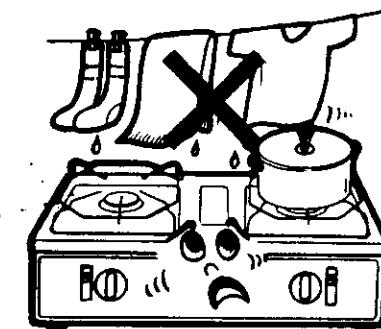
使用上の注意

- 調理以外の用途(炭・練炭あこし等)には使用しないでください。

過熱や異常燃焼による焼損・火災などの危険があります。

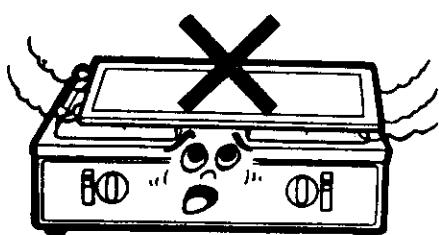


- 衣類の乾燥などに使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災になることがあります。



- こんろを覆ってしまうような不良補助具や、大きな鉄板・陶板類、市販のガス節約器などは使用しないでください。

不完全燃焼による中毒・過熱や異常燃焼による器具の焼損・火災等の危険があります。



- 上のせてんびは使用しないでください。
異常過熱や故障の原因となります。

- 使用中や使用直後は、器具の各部分が高温になってありますので、とてつ以外の部分には手など触れないでください。

- 万一異常燃焼を起こしたときや緊急の場合は、あわてずに器具せんとガス元せんを閉じて、消火してください。

- 煮こぼれは、バーナー部や器具を早くいためますので、十分注意してください。
万一、バーナーに煮こぼれがかかるたときは、その都度バーナーキャップを外して、ブラシやキリなどで掃除してください。

煮こぼれで目詰りしたバーナーをそのまま使用しますと、不完全燃焼や、生ガスが出たり、炎が逆流して器具を焼損するおそれがあります。

- 市販のアルミ箔のマット(ガスマット)は、使用しないでください。
燃焼が悪くなることがあります。

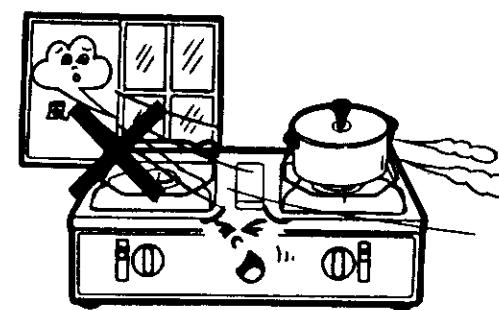
設置前の準備

1 包装材を取り除きます

- 各部分の包装部材を取り除いてください。
- トッププレートは四隅を上からしっかりと押さえ、本体に正しくセットされていることを確かめてください。

2 設置場所についてのご注意

- 次のような場所には設置しないでください。
 - 風の吹き込むところ。
 - 棚の下などで落下物の危険のあるところ。
 - カーテンや燃えやすいものの近く。
- 家具、壁その他の可燃物から十分離れている場所に設置してください。
- 換気(給気・排気)が十分できるところに設置するか、換気できるようにしてご使用ください。

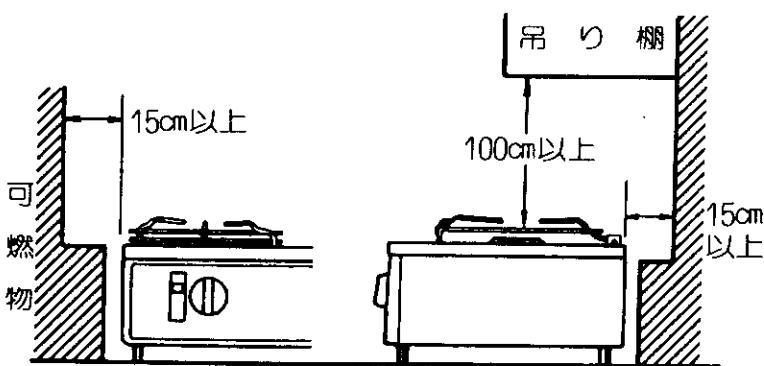


3 周囲の防火措置について

器具は可燃物(壁面など)から15cm以上離して設置してください。

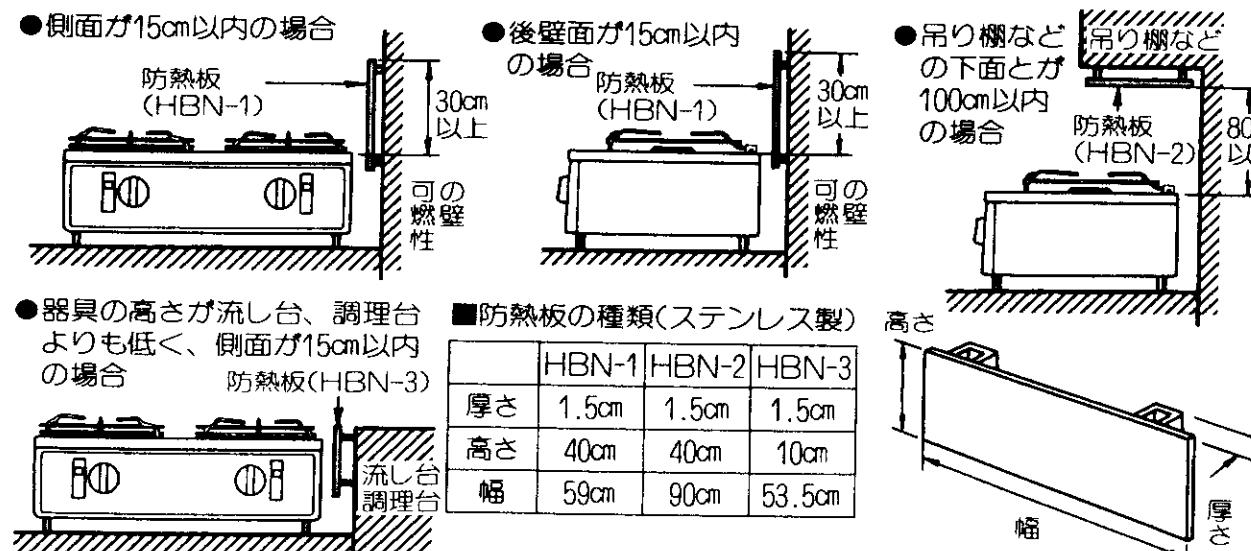
ピッタリ付けて設置しますと、壁面などの温度が上がり、危険です。

また、上部に吊り棚などがある場合は、器具上面と吊り棚との間に100cm以上の空間を設けてください。



●防熱板による防火措置

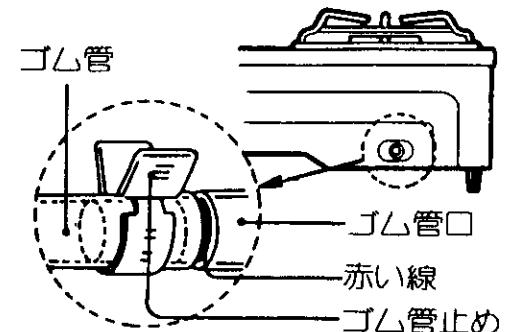
壁面などとの間隔を15cm以上離せない場合は、防熱板(別売品)を下図の要領で取付けてください。なお、可燃性材料と防熱板との間には1cm以上の空間を設けてください。



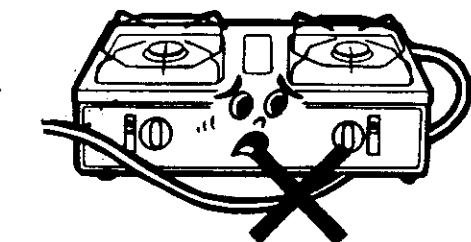
設置の方法

(ガス管の接続)

- ゴム管を、ゴム管口やゴム管内にごみなどが付着していないことを確かめてからゴム管口の赤い線まで差し込み、ゴム管止めで確実にとめてください。

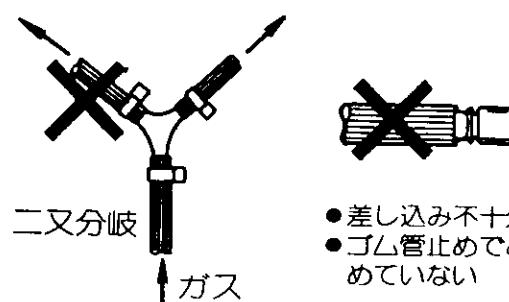


- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり、ねじれたりしないよう、できるだけ短かく(2m以下で適当にゆとりをもたせる)、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてください。



- ゴム管が折れ曲ってつぶれないよう注意してください。

- ゴム管止めは、別売品かガス会社、LPGガス業者の指定品を使用してください。
- ゴム管について詳しくは3ページをお読みください。
- ゴム管の継ぎたしや、二又分岐は、絶対にしないでください。



- 迅速継手を使用する場合、ガス元せんのゴム管口により接続具が異ります。接続は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

使用方法

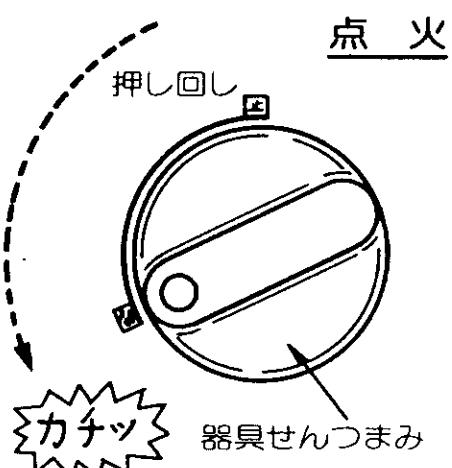
…使用方法

点火前の準備と確認

- 器具周辺に、紙、プラスチック、油類など、燃えやすいものが置いてないか、確認してください。
- 器具せんつまみが2つとも「止」位置(縦向き)になっていることを確かめてから、ガス元せんを全開にしてください。
- ガス元せんを開く際には、誤って器具が接続されていないガス元せんを開いたり、他の器具のガス元せんを操作したりしないよう、十分注意してください。

点 火

- 空気調節つまみを左へ止まるまでまわしてください。
(この操作は器具を初めてご使用になるときだけ必要です。)



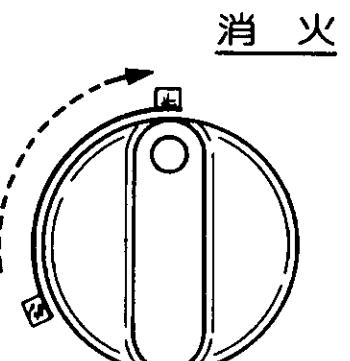
- なべ等をのせ、器具せんつまみをイッパイに押し、そのまま左方向にゆっくり「開」の位置まで回すと「カチッ」と音がしてバーナーに着火します。
- 着火を確かめてから手をはなしてください。
- 着火しないときは、すぐに器具せんつまみを元へ戻し、点火操作をくり返してください。

- 初めて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて着火しにくいことがありますので、空気が抜けて着火するまで(数回)点火操作をくり返してください。
- 使用中は、器具せんつまみを押したり、器具せんつまみに寄りかかったりしないでください。(パイロットバーナーに着火して、しる受けが変色することがあります。)
- 点火操作時、火力調節つまみが「●ほたる火」位置にあっても自動的に「中」位置に戻ります。

消 火

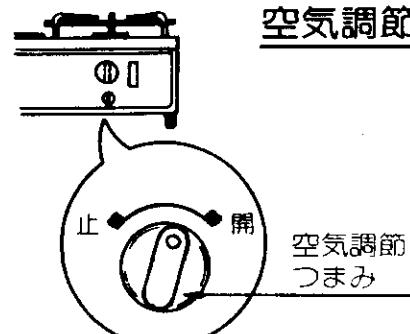
器具せんつまみを「止」方向へ止まるまで戻すと、ガスの出が止まって消火します。

- 途中で消火しますが、必ず「止」の位置まで(止まるまで)戻してください。
- 消火の際に「ポン」と大きな音がするようでしたら、空気量过多ですから、こんろ空気調節つまみを「止」方向へまわしておいてください。
- 再点火は、消火操作後4~5秒たってから行ってください。すぐに再点火すると、ゴーゴー音がして燃えることがあります。



空気調節

空気調節つまみを右または左にまわし、炎が下図の「良好燃焼」の形になる位置にしてご使用ください。



- 空気量は一度調節しておけば、あとであまり調節する必要はありません。

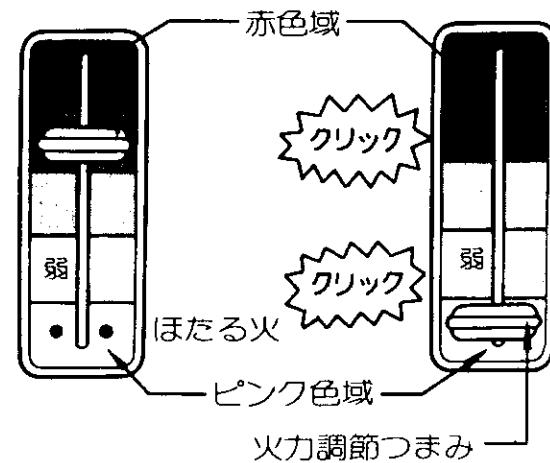
火力調節

火力調節つまみにより容易に火力調節ができます。

炎を見ながらゆっくりと火力調節つまみを動かして調節してください。

- 下方へ動かしていくにつれて火力は弱くなり、「●ほたる火」位置で最も弱くなります。
- 火力調節つまみを素早く動かすと消火があります。
通常の操作でも消火する場合は、空気調節つまみを消火しない位置まで「止」方向に動かしてください。
- 弱火、ほたる火でご使用のときは、風などにより炎が消えやすいので、吹き消えに注意し、必ず燃焼していることを確認してください。

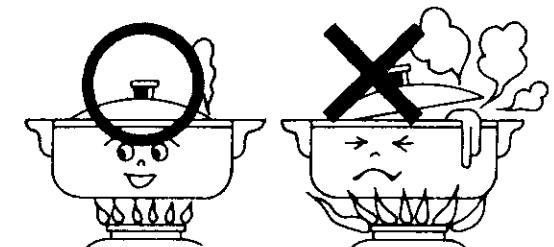
とろ火コントロール



器具の上手な使いかた

●鍋に合った火力で使いましょう。

炎の先端が鍋底に当たる程度が最適です。
それ以上大きくするのはガスのムダになります。



●一度煮たちましたら、沸騰が続く程度の火力にしぼってお使いください。

煮こぼれの防止と、ムダなくガスをお使いいただけます。

●鍋をこんろにかける前に鍋底の水気をふきとりましょう。

水分が付着していると、余分な熱が必要になります。

●空気量は正しく調節し、常に「良好燃焼」の状態で使うようにしてください。

- 日常の点検・手入れは、必ず行ってください。
- 不完全な修理は危険です。万一あいが悪くなつて処置に困るような場合は、お買い求めになつた販売店またはガス供給業者にご相談ください。
- 点検・手入れの前には、必ず器具せんとガス元せんを閉じてから行ってください。

ゴム管およびゴム管の接続部

- ①ゴム管は長い間使用しますと、ひび割れしたり、差し込み口がゆるくなりますので、早目に取り替えてください。
- ②接続が不完全ですと、ゴム管の抜けやガス漏れの原因となりますので、赤い線までしっかりと差し込み、ゴム管止めてとめてください。

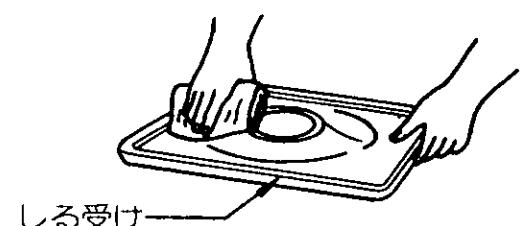
器具の各部(器具は常に清潔にしてご使用ください)

- ①バーナーおよびその周辺のよごれは、不完全燃焼の原因となりますので、よごれている部分は掃除してください。
- ②バーナーボディ、バーナーキヤップ、トッププレート、しる受け、ごとくなどが、正しくセットされていることを確かめてください。

ごとく、しる受け、トッププレートの掃除

- ①ごとく、しる受けは外して掃除してください。

なお、しる受けは、温かいうちにふきとれば、掃除は容易です。

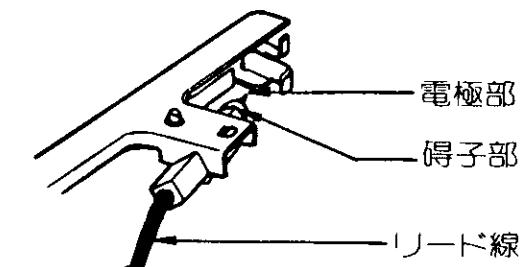


- ②トッププレートは乾いた布でよくふいてください。

汚れの落ちにくいときは、中性洗剤で手入れした後、水けをきれいにふきとつておいてください。(塩分が付着したり、油が付いたまま放置すると、錆が発生します)

点火器電極部の掃除

電極部がよごれると点火しにくくなります。
しる受けを外した際に点検し、よごれているときは乾いた布などできれいにふきとつてください。

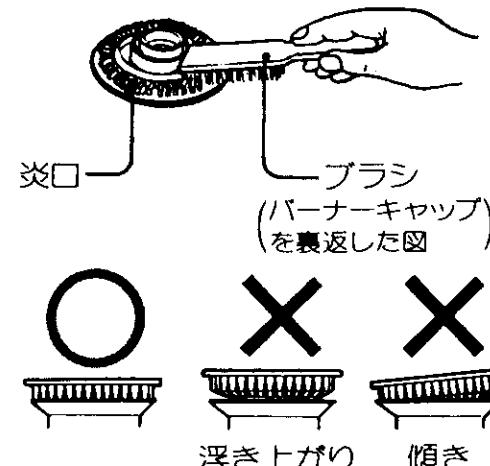


- 電極部に手を触れたまま点火操作をしますと感電することがあります。注意してください。
- 掃除の際、電極に接続されているリード線を引き抜かないよう注意してください。

バーナーの掃除

バーナーに煮こぼれがかかるときは、その都度バーナーキヤップを外してブラシやキリなどで掃除してください。

- バーナーキヤップの水洗いは避けてください。やむを得ず水洗いをした場合は、完全に乾かしてから取付けてください。
- バーナーキヤップは、浮き上がりや傾きのないよう、正しく取付けてください。
- 煮こぼれのこびり付きなどでバーナーキヤップが外れなくなつた場合は、無理に外しても正しくセットできませんので、とりあえずは炎口のつまりを取り除いて使用し、早目に修理(バーナーの交換)を販売店に依頼してください。(バーナーキヤップの炎口部の歯が薄くなつたり、歯こぼれしたときも、新しい部品と交換してください。)

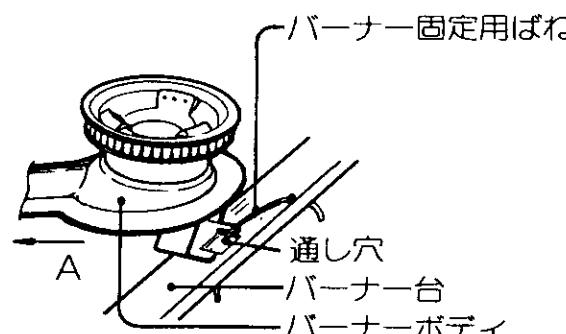


煮こぼれで目つまりしたバーナーをそのまま使用しますと、不完全燃焼や、生ガスが出たり、炎が逆流して器具を焼損する恐れがあります。

バーナーの取外し、取付け要領

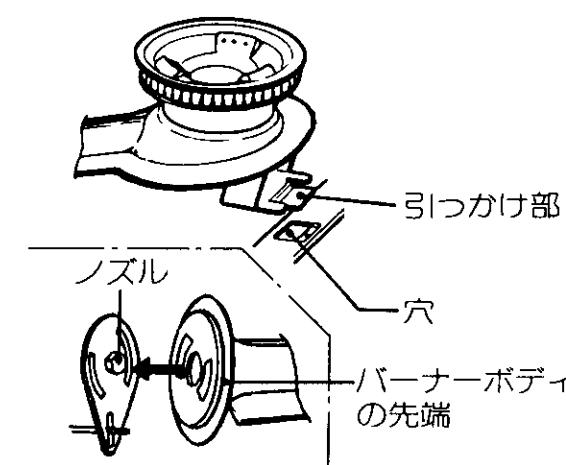
■取外しかた

- ①バーナー固定用ばねの先端を、バーナー台の穴から外し、更に通し穴部から、外してください。
- ②バーナー部全体をA矢印の方向に押し、バーナーボディの引っかけ部が外れてから持ち上げるようにして取外してください。



■取付けかた

- ①バーナーボディの先端をノズルにはめ合わせて、バーナーボディの引っかけ部を穴に入れて引っかけ、元の位置にセットする。
- ②バーナー固定用ばねの一端を通し穴に差し込み、他端をバーナー台の穴に差し込む。



故障・異常の見分け方と処置方法

ぐあいの悪いときは、下表を参考にして処置してください。

不完全な処置は事故のもとになりますので、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

現象	処置方法										参考ページ
	点火しない バーナーに火移りしない	黄炎で燃える 炎が安定しない	炎が不揃い 炎が揃う	異常な音がして燃える ガスのにおいがする	火力が弱い 消火時大きい音がする	ガスのにおいがする 消火しない	ガスのにおいがする 消火しない	ガスのにおいがする 消火しない	ガスのにおいがする 消火しない	ガスのにおいがする 消火しない	
ガス元せんの開け忘れ か開きが不十分	● ●			●							一
ゴム管内に空気が残つ ている	● ●	●									フ
ガスが少なくなつてい る(LPガス)	● ●		●								一
器具の銘板に表示のガ スと使用ガスが不一致	● ● ● ● ● ● ● ● ●										2
ガス圧が適切でない	● ● ● ●	● ●									一
点火操作が適切でない	●										フ
点火器電極部のよごれ	●										9
バーナーの炎口詰まり	● ● ● ●										10
バーナーキヤップの取 付けが不完全	● ● ● ● ●		●								10
バーナーボディの取付 けが不完全	● ● ●	●	●	●							10
空気調節が適切でない	● ● ●	●	●	●	●						8
ゴム管の折れ曲り、つ ぶれ	● ●			●							6
ゴム管のひび割れ、穴 あき					●						6
ゴム管の接続が不完全					●						6
器具せんの故障	●	●									一
ノズルの詰まり	● ● ●			●							一

長期間使用しない場合

- ゴム管を取りはずし、元せん側、器具側ともゴム管口にごみやほこりなどが入らないよう、キャップなどをしておいてください。
- 器具は汚れをきれいに取り除き、ほこりやごみなどが入らないよう、ビニールをかけて、お買い求めになったときの箱などに入れ、湿気のないところで保管してください。

仕様

品名	二口こんろ(日立ガステーブル・プリン形)		
形式の呼び名	GHS-28W		
種類	ガス二口こんろ		
点火方式	圧電点火		
外形寸法	高さ 205mm × 幅 560mm × 奥行 410mm		
重量	5.0kg		
使用ガス	1時間当たりのガス消費量		ガス接続
使用ガスグループ	全ガス消費量	左こんろ	
都ガス用	4A	4,350kcal/h	2,300kcal/h
	4B	4,600kcal/h	2,450kcal/h
	4C	4,800kcal/h	2,550kcal/h
	5A	4,400kcal/h	2,300kcal/h
	5AN	4,050kcal/h	2,100kcal/h
	5B	4,700kcal/h	2,450kcal/h
	5C	5,200kcal/h	2,700kcal/h
	6A	4,650kcal/h	2,400kcal/h
	5C	4,900kcal/h	2,570kcal/h
	6C	5,450kcal/h	2,850kcal/h
	6B	5,500kcal/h	2,850kcal/h
	7C	5,670kcal/h	2,950kcal/h
	11A	4,750kcal/h	2,400kcal/h
	12A	5,500kcal/h	2,800kcal/h
	13A	5,900kcal/h	3,010kcal/h
LPGガス用		0.502kg/h	0.251kg/h
呼び寸法 9.5mm 都市ガス用ゴム管			
呼び寸法 9.5mm LPGガス用ゴム管			

アフターサービス

- サービスを依頼される前に11ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」項を見て、もう一度確認してください。
確認のうえそれでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご依頼ください。
 - アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。
(1)品 名……日立ガステーブル (3)現 象……できるだけ詳しく
(2)形式の呼び…GHS-28W (4)道 順……付近の目印も

転居される場合

- ご転居によりお買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立家電品の取扱店を紹介させていただきます。
なお、この製品はガス種が変る場合は、改造や調整が必要となりますので、転居先の販売店にご相談、ご用命ください。（改造や調整は有料です。）

保証

- この商品は保証書付きです。
保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
 - 保証期間はお買上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。
 - 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の最低保有期間にについて

- ガステーブルの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。
 - 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店か別紙「日立家電品ご相談窓口一覧表」のご相談窓口にお問い合わせください。

お客様メモ

..後日のために記入しておいてください。
..サービスを依頼されるときお役に立ちます。

ご購入年月日	昭和 年 月 日
購入店名	電話()

日立家電販賣株式會社

日立熱器具株式會社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)502-2111